

自動車排出ガス等試験自動車諸元表

提出先:試験場		確認者印
協会使用		

ガス	受-試	-
	管理	
騒音	受-試	-
	管理	

試験依頼者				輸入者				
諸元表	氏名				電話			
作成者	住所				担当者			

※ 以下の項目は試験実施の際に使用する数値も含まれ、試験実施後の訂正はできない場合がありますので十分確認のうえ記入して下さい。(申告された成績表の諸元値については検査時に検査法人へ根拠となる資料を提出することになるのでご承知置き下さい。)

1. 試験自動車諸元表

車名	型式(車両種別)	車台番号(シリアル番号)	用途	形状
			乗用・貨物・特種(貨・乗)	箱・幌・SW
試験自動車製作者の名称				
車両重量*	kg	使用燃料	無鉛ガソリン・プレミアム・軽油・CNG・LPG	
技術的許容質量 <small>(非積載重量は乗員が乗車せず、かつ、非積載状態で燃料等満タン・スペアタイヤ・工具類を含む)</small>	kg	過給器	有 () 個 ・ 無	
非積載重量 <small>(非積載重量を除外)</small>	kg	給気冷却器	有 () 個 ・ 無	
最大オプション重量 <small>(非積載重量を除外)</small>	kg	変速機	手動・足動・自動・ 前進 () 段	
乗車定員及び最大積載量*	人	変速方法(二輪)	リターン ロータリ	
車両総重量(WMTCモードは記入不要)	kg	副変速機	有 ・ 無	
原動機型式	(WMTCモードは1、2次要)			
原動機番号				
原動機作動方式	2サイクル 4サイクル ロータリ	変速機ギヤ比	1速	7速
気筒数及び総排気量	気筒 L	(JEO5モード、	2速	8速
最高出力	エンジン / kW・PS・HP/min ⁻¹	WMTCモード、	3速	9速
	モーター / kW・PS・HP/min ⁻¹	加速走行騒音	4速	10速
最大トルク	エンジン / N・m/min ⁻¹	試験のみ記入)	5速	11速
	モーター / N・m/min ⁻¹	駆動輪*	6速	12速
点火・噴射時期	° ± ° / B・ATDC/min ⁻¹	前輪	前輪 ・ 後輪 ・ 全輪	
無負荷回転数	N D P ± min ⁻¹	後輪	駆動輪半径	
最高速度	km/h	タイヤサイズ	cm	
燃焼室形式(圧縮比)	直噴式・副室式 ()	タイヤ空気圧	前輪	標準 実測 記入不要
シリンダー径×行程*	× mm	kPa(kg/cm ²)	後輪	
燃料供給方式	噴射式・キャブレター式 ()	自動車寸法(m)	長さ	幅
個数及び型式*	()	ホイールベース	高さ	

- * 車両重量は空車状態の自動車に燃料、油脂及び冷却水を満量としてスペアタイヤ及び工具類は取り除いた状態で計測した数値を記入して下さい。(WLTCモードの非積載重量とは違います。)
- * 試験車重量に於ける定員1人当たりの重量は55kg(WMTCモードのみ75kg)です。
- * 燃焼室形式(圧縮比)・シリンダー径×行程はディーゼル車のみ記入して下さい。
- * 燃料供給方式・個数及び型式は次に示すように記入して下さい。(Lジェットロ・ソレックス・列型等)
- * 駆動輪は本来の駆動方式を○で囲んで下さい。

騒音防止性能確認標章 貼付位置

2. 一酸化炭素等発散防止装置等

種類	三元触媒	酸化触媒	吸蔵型NOx還元触媒	DPF	GPF
個数	() 個	() 個	() 個	() 個	() 個
製作者					
種類	エアポンプ	リードバルブ	EGR	O2センサー	NOxセンサー
個数	() 個	() 個	() 個	() 個	() 個
製作者					

- 一酸化炭素等発散防止対策が、試験自動車の自動車メーカーにおいて実施されている場合は、製作者の欄に「メーカー純正」と記入して下さい。
- 前(1)以外の場合は、該当する欄に当該装置の製作者の名称を記入して下さい。また、装着されていない装置欄には「×」印を記入して下さい。消音器欄は触媒が内蔵されている場合は有、いない場合は無に○をして下さい。
- 加速走行騒音試験で消音器に貼付する「騒音防止性能確認標章」の貼付位置は標章の希望の有無を問わず必ず記入して下さい。

3. 車台番号(シリアル番号)の拓本貼付欄 (車台番号(シリアル番号)の打刻様式の説明を併記)

--

(注) シリアル番号の場合は「シリアル番号」と記入し()で囲んで下さい。当該打刻されている番号(記号、符号を含む)すべてを記入して下さい。